



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年10月31日

上場会社名 ABホテル株式会社 上場取引所 東 名
コード番号 6565 URL <https://www.ab-hotel.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 沓名 一樹
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 大出 章喜 TEL 0566 (79) 3013
四半期報告書提出予定日 2023年11月6日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家、アナリスト向）

（百万円未満切捨て）

1. 2024年3月期第2四半期の業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

（1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	4,849	21.2	1,771	49.1	1,744	50.1	1,088	56.6
2023年3月期第2四半期	4,001	37.9	1,188	491.2	1,161	561.7	695	681.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	76.81	—
2023年3月期第2四半期	49.05	—

（注）1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	22,336	9,209	41.2
2023年3月期	21,611	8,291	38.4

（参考）自己資本 2024年3月期第2四半期 9,209百万円 2023年3月期 8,291百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	12.00	12.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,000	2.3	2,960	△0.6	2,900	△0.8	1,800	△0.4	126.98

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	14,176,000株	2023年3月期	14,176,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	427株	2023年3月期	382株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	14,175,587株	2023年3月期2Q	14,175,640株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におきましては、新型コロナウイルス感染症（以下「感染症」という）も5月8日より感染法上の分類が2類から5類に変更され、個人消費も緩やかな回復基調が見られるものの、緊迫した海外情勢並びに為替の影響等によるエネルギー資源をはじめとした物価上昇により、消費者動向など先行き不透明な状況が続いております。

国土交通省が発表する宿泊旅行統計調査（令和5年7月・第2次速報、令和5年8月・第1次速報）にて、宿泊事業全体の延べ宿泊数は7月5,254万人泊（前年同月比31.9%増、2019年同月比1.5%増）、8月6,227万人泊（同32.9%増、同1.5%減）となり感染症発生前と比較し、同水準のところまで回復してきております。また当社の属するビジネスホテル業界の稼働率に関しては、7月69.4%、8月73.5%と、順調に感染症拡大以前の経済活動を取り戻しつつある状況であります。

こうした経済環境のもとで、当社は、各都道府県が実施している旅行割引キャンペーンに積極的に参加し、宿泊稼働率の向上に努めました。またお客様の更なる満足度向上のため朝食メニューの見直しをするなど、リピート客確保の施策を実施いたしました。宿泊ニーズの高い立地での運営に加え、当社の主要顧客であるビジネスのお客様が堅調に推移したことによって、前々期までに開業した既存32店舗の第2四半期累計期間平均宿泊稼働率は89.3%（前年同期比7.8ポイント増）となりました。

当第2四半期累計期間におきましては、2023年8月岐阜県関市に「A Bホテル関」を出店し、新規開業店舗を含め運営店舗は34店舗となり、客室数は4,441室となりました。

この結果、当第2四半期累計期間における売上高は4,849百万円（前年同月比21.2%増）、営業利益1,771百万円（同49.1%増）、経常利益1,744百万円（同50.1%増）、四半期純利益1,088百万円（同56.6%増）となりました。また当社の主要KPIである経常利益率は36.0%となり、売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益は、いずれも第2四半期累計期間における過去最高をそれぞれ更新いたしました。

なお、当社はホテル事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

資産・負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ724百万円増加の22,336百万円となりました。主な要因といたしましては、現金及び預金が542百万円、有形固定資産が「A Bホテル」の新規出店により310百万円増加した一方、売掛金が115百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

負債総額は、前事業年度末に比べ194百万円減少の13,126百万円となりました。主な要因といたしましては、未払法人税等が274百万円減少した一方、「A Bホテル」の建設による借入金並びにリース債務が218百万円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

純資産は、前事業年度末に比べ918百万円増加し9,209百万円となりました。主な要因といたしましては、利益剰余金が増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は41.2%（前事業年度末は38.4%）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期通期の業績予想につきまして、2023年5月10日公表の業績予想から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,777,649	5,319,914
売掛金	616,904	501,899
棚卸資産	22,410	20,036
その他	73,668	69,310
流動資産合計	5,490,632	5,911,161
固定資産		
有形固定資産		
建物	13,715,897	14,063,651
減価償却累計額	△2,975,852	△3,181,485
建物(純額)	10,740,045	10,882,166
構築物	732,564	759,663
減価償却累計額	△321,271	△342,534
構築物(純額)	411,293	417,129
機械及び装置	79,974	79,974
減価償却累計額	△47,946	△51,161
機械及び装置(純額)	32,028	28,812
工具、器具及び備品	273,774	279,463
減価償却累計額	△227,888	△236,735
工具、器具及び備品(純額)	45,886	42,727
土地	962,809	1,260,175
リース資産	4,200,145	4,317,606
減価償却累計額	△1,328,026	△1,432,270
リース資産(純額)	2,872,119	2,885,335
建設仮勘定	220,950	79,145
有形固定資産合計	15,285,132	15,595,491
無形固定資産	28,090	32,010
投資その他の資産		
敷金及び保証金	585,737	585,297
繰延税金資産	216,838	207,754
その他	5,303	4,497
投資その他の資産合計	807,879	797,549
固定資産合計	16,121,102	16,425,051
資産合計	21,611,734	22,336,212

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	1,547,394	1,671,004
リース債務	316,213	333,271
未払金	702,815	769,081
未払法人税等	954,399	679,731
契約負債	82,503	74,537
その他	378,839	178,332
流動負債合計	3,982,164	3,705,957
固定負債		
長期借入金	5,720,240	5,796,808
リース債務	2,638,877	2,639,884
退職給付引当金	2,823	3,462
役員退職慰労引当金	41,640	45,520
資産除去債務	889,260	894,181
その他	45,670	40,670
固定負債合計	9,338,511	9,420,525
負債合計	13,320,676	13,126,483
純資産の部		
株主資本		
資本金	953,920	953,920
資本剰余金	1,387,438	1,387,438
利益剰余金	5,950,467	6,869,257
自己株式	△766	△886
株主資本合計	8,291,058	9,209,728
純資産合計	8,291,058	9,209,728
負債純資産合計	21,611,734	22,336,212

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	4,001,566	4,849,797
売上原価	2,580,639	2,799,183
売上総利益	1,420,926	2,050,614
販売費及び一般管理費		
役員報酬	37,480	39,720
給料及び賞与	52,255	55,732
支払手数料	64,045	82,564
その他	78,981	101,284
販売費及び一般管理費合計	232,762	279,300
営業利益	1,188,163	1,771,314
営業外収益		
受取手数料	12,916	12,869
雑収入	7,106	3,832
営業外収益合計	20,023	16,702
営業外費用		
支払利息	37,426	33,934
雑損失	8,992	9,710
営業外費用合計	46,418	43,644
経常利益	1,161,767	1,744,371
特別損失		
固定資産除却損	859	—
減損損失	38,963	—
特別損失合計	39,822	—
税引前四半期純利益	1,121,944	1,744,371
法人税、住民税及び事業税	435,453	646,390
法人税等調整額	△8,860	9,084
法人税等合計	426,592	655,474
四半期純利益	695,351	1,088,897

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。